



大和中ロータリークラブ会報

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で道を照らそう

R.I 会長 James L. Bomar Jr.

第 61 回 例会 1979 年 9 月 6 日 (木) 晴 第 66 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
28名	25名	89.25%	96.39%
欠席者 袴田, 木崎, 辻			

芦田会長テーマ 友愛と協調

司会 芦田会長

ゲスト

稲葉睦美氏

ビジター

上野次郎君, 山本忠夫君 (横浜瀬谷) 小山計玄君
(伊勢原) 真鍋藤正君, 四元頼信君, 前田俊昭君,
岩田章君, 今井利汎君 (大和)

会長報告

○大和中クラブ 国際ロータリー加盟 認証状伝達式記念事業の1つとして大和市民憲章碑を贈呈することになりました。来週9月13日(木)午後2時から大和市役所で除幕式が行われます。引き続き記念写真を撮る予定ですので皆さんご出席下さい。

幹事報告

○本日は特にありません。
それだけ卓話の時間にゆとりが出来て嬉しいです。



委員会報告

社会奉仕委員会 亀谷委員長

○大和市福祉協議会からのお申し入れにそい、福祉バスのなかに設置されるアイスボックスを寄付することに致しました。いすゞトラック販売KKに購入(¥148,500)依頼してあります。次週市民憲章碑除幕式の際に寄贈いたします。

国際奉仕委員会 郡司委員長

GSEについてのお手元のプリントをご覧下さい、2頁目は後でゆっくりと目を通して下さい。若干補足いたしますと、2名の方の宿泊については土屋さん宅にお世話して預けるこ

本日のプログラム 9月13日

「すぐに役立つスピードメモ法」中根正雄氏

次週予定 9月20日

「青少年奉仕活動週間にあたり」今田正広氏

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央1-5-40
及び 大和市商工会館内
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より
会長 : 芦田敬治 副会長 : 佐藤実
幹事 : 北砂富三 会報委員 : 上田・竹之内・郡司

とになりましたのでよろしくお願い致します。
。見学事業のお世話役の付き添いにつきましては表記以外の方も積極的にご協力下さい、来週ご都合のつく方のご返事をお待ちしております。
又10月22日(月)懇親会を予定しております。
何にかすばらしい案があったら教えて下さい。
更に写真並びに記録についてもお手伝い頂ければ幸いです。

ロータリー情報委員会 藤田委員長

。本日例会後 15分間の勉強会を持ちたいと思います。お集り下さい。

親睦活動委員会 中西委員長

- 。本日のお祝いは3名です。お誕生日 猪熊唯一君(9月12日), 長谷川清一君よし子夫人(9月7日), 結婚記念日 松本忠明君(9月3日) 芦田敬治君(9月10日)。
- 。第1回家族会を相模路の飯山温泉郷において10月7日行います。午前10時市役所出発, あとは予定表の通りです。ご家族そろってご出席下さい。

ゴルフ同好会 富沢幹事

- 。3クラブ合同のコンペはいづれご案内があると思いますのでご期待下さい。
- 。お待たせしました, 当クラブ第1回目のコンペを11月11日(日)に予定しておりますので, 詳細については後日お知らせ致しますが, 出欠のみ予め教えて下さい。

ロータリー情報勉強会

リーダー 藤田委員長

例会終了後 10名の会員が集いロータリー・クラブ定款についての勉強会を持った。本日は第8条会員身分の存続について。その期間, 終結する場合, 再入会, 終結一会費不払一欠席, 他の原因による終結, 退会, 資産関与権—その放棄等についてそれぞれ再確認を行いながら, 面白い実例なども飛び出し楽しい討論であった。

卓 話

「日本におけるスカウト運動について」

ゲストスピーカー

ボーイスカウト神奈川連盟副コミッショナー

稲葉睦美氏

紹介: 北砂会員

稲葉先生は南林間2条通りで歯科を診療しているらしいですが, 巷では歯科医の稲葉かボーイスカウトのイナバかと云われたりしております。

初めて大和にスカウトを結成された方でもあり熱心にスカウトの為に尽くしておられます。私達はこの組織などについても認識不足の点が少なくありませんので卓話を頂こうと考えた次第です。



稲葉睦美氏

この様な席にお招きを頂き, また日頃ボーイスカウトのためにお世話になっているロータリアンの方々のご好意にたいし感謝いたします。

しばらくの間ボーイスカウトの現状, 或いはその使命についてお話しを進めさせて頂きます。ボーイスカウトにつきましては当クラブにも神奈川連盟事務局長の近藤さんもいらっしゃいますし, またパンフレット, 単行本なども発行されております。この点につきましては他日の事にさせて頂き本日は私のいろいろな経験のなかから実際に子供達が入団しどの様に成長していくのかの段階を辿うじてボーイスカウト運動の使命とか現状にふれて行きたいと考えております。

私は昭和29年にスカウト運動に入り丁度29年になります。来年は30周年に何かをやろうか等と考えている程で自分の半生以上をボーイスカウトの方にやってきたわけであります。正直申しまして, 始めのうちは遊びとか道楽とかいった気持で

やっておりましたが、子供達とのふれあい、人と人との心のふれ合いが深まるにつれ道楽では済まされなくなり自分の仕事と考え、自分自身でも悩み、またいろいろ考えもしました。今は只ひたすらにこの道を最後まで進んで参りたいと考えています。

さて、カブスカウトに入団した小さな子供達はどのように育っていくのでしょうか。ゲームを楽しみながら、自分たちのニーズを満たしてゆく。その過程の中で、さまざまな活動を体験してゆくのです。それは小学校の3年のころから大学を卒業する年齢にまで一貫性のあるプログラム活動として行なわれ、その中から、ほかの仲間たちとの友情の輪をひろげ、更にそれは国際的、世界的な平和運動としてひろげられてゆく、それがボーイスカウト運動なのです。

楽しみとは、好きなことだけを学習することではなく当然、社会人として、また人間として知らなければならないマナーや知識などの修得をプログラム、プロセスの中から自然に無理なくするように仕向ける。そのようにしむけるためにボーイスカウトには進歩制という特殊な教育制度があり、またスカウト運動が少年たちの自発活動によって行なわれ、小集団の活動を通じて活発な相互作用が行なわれるよう班制度というものをとりあげ個々のスカウトの責任感やリーダーシップを育てるようにしくまれているのです。スカウト教育が他の教育制度と少し異なる点はこの2つの制度をとり入れていることにあります。この方法は、スカウト運動がおこった今世紀の初め、創始者ベーデンパウエル卿（イギリス、1857～1941）の体験にもとづく指導理念から生れたものであります。そしていま世界110カ国に1300万人を数える世界最大の青少年運動組織に発展している。その対象が少年、青年であるだけに、スカウト運動は次代をになう人間教育ということにもなりますが、それはスカウトの両親はもちろんのこと広く一般、社会の協力を得ることによって達成できるものであります。

ボーイスカウト教育のねらいは次の4つにしばら

れ、それが、学年や年齢に応じて、カブスカウトボーイスカウト、シニアスカウト、ローバースカウトの分野にわかれて、それぞれの活動がなされるのです。

人格を高める

すべてのスカウト（リーダーも含めて）、は正式に仲間入りをするときには、一定の儀式を行なって「ちかい」をします。これは、その後も一生を通じて自分を律するものとなる。その第一に「神仏と国とに誠をつくす」とあります。これはひとつには人間として歩むべき道を行うとするものであり、ひとつには自分の属する国に誠実な国民であらうとするものであります。

健康づくり

この年齢は身体の発育の盛んな時期であり大人の健康づくりへの土台ができる時代です。そのことを見逃すことはできない。ちかいの第3に「からだを強くし心をすこやかに徳を養います」とあるのです。そして野外活動は、おそらく統合的体育と云えましょう。新鮮な空気、気温の変化、天候の変り方などによって自然への適応力を養う。学校教育の場が教室と運動場、家庭教育の場はそれぞれの家庭環境であるなら、スカウト教育の場は豊かな大自然なのであります。

知識、技能づくり

人間の生活に不可欠な知識と能力の中に、少年時代にこそ著るしく伸ばせるものあるいはそのよい下地を育てられるものがある。ちかいの第2に「いつも他の人々を助けます」と云う自己宣言は知識技能が身につけていないとできないことです。もう一つそれは可能性の発見に役立ち「ぼくはできる」ということは青少年に大きな自信をつけさせ、更に向上への希望をもたせる。

奉仕を通じての実践

スカウトの創始者B.P. 卿は、スカウトに対するメッセージの中で、**幸福な人生をおくるためには他の人々を幸福にしてあげることだ**、と云われています。そして年長のスカウトであれば、それは信仰心と自己の試練との両面からの発動としてすすめられている。

B.P.脚はこれを神のチームの1人としての仕事と云われた。従ってすべてのスカウトは明確なる信仰をもつことが奨励され、そのもとにあって実行によって奉仕をすることが義務づけられているのです。

日本におけるスカウト運動

日本におけるスカウト運動は1910年ごろからはじめられています。そしてスカウトの「ちかい」とおきてはイギリスの騎士道の精神からとられたものであると云われていたが、日本の武士道はその真意において同じであることもその著書の中に云われているのです。また九州島津藩には郷中教育と云うものが行なわれており会津藩が、什の制度というあそびの仲間をもって幼少の頃より武士の教育を行っていたことは有名であります。つまり日本においてもボーイスカウトのような教育制度はあったのです。そして共産諸国ではピオニール（共産先鋒隊）と云う組織のあることは有名であります。およそ青少年の教育に熱意を示さない国は決して栄えない。そして現代ほど、スカウトのような社会教育が必要なきはないと思います。21世紀に羽ばたく若人たち、国際的な視野に立てる大きな心をもつ日本人、たくましい男たち、それを育てるために大人たちが奉仕することはその義務であると思う。いま日本には30万、大和市には500名のスカウトがいます。しかしその数は諸外国に比べればあまりにも少ない数である。しかしその資質は世界の中でも注目に価されるものと云われています。我々はまず私たちの周囲から、その輪を更に大きく広げてゆくようにこれからも努力をしてゆきたいと思っています。私達は躰をもって子供達に奉仕を致します。もし皆さん方、大人達の持っているいろいろな物、例えば特別な知識を持っている方ならそれでもよい、土地を持っていれば子供達のキャンプの場所に提供して下さってもよい、或いは資力を持っている方は財政的な援助をして下さってもよい、更に車のある方は車でキャンプ地まで子供達を送って下さってもよい、そのような面からどうか子供達を支援してやって下さい。

大和のボーイスカウトは数は少ないのですが非常に優秀な、富士スカウト、隼スカウトなど数多く出しております。神奈川県連で大和程優れたスカウトを持っている所は少ないのです。今後の発展を期待すると同時に皆様はボーイスカウトの指導者ではありませんが同じような気持をもってスカウト運動にご協力をお願いしたいと存じます。有難うご座居ました。

スマイルBOX

スマイルBox 基金状況

7月分¥126,000 8月分¥108,000

ご協力を感謝いたします。

スマイルBox 委員会

大和RC 今井会員 おじゃま致します。今日も宜しく願います。

大和RC 四元会員 何時も御世話になります。

大和RC 前田会員 お世話になります。

石渡会員 イニシェイションスピーチが無事にすみ、やれやれ一安心……秋晴れと云う気分です。

竹之内会員 母が亀谷先生のご好意によって入院しています。先生から安心出来るお言葉をいただき、ほっと胸をなでおろしています。

亀谷会員 竹之内様の御母上順調です。主治医として大変よろこんです。

松本会員 前回の例会で、お祝を頂戴する所を、欠席して申訳ございません、会場へ来てから知りました。有難うございました。

長谷川会員 皆様からのご祝詞、女房に伝えます。いろいろ有難うございます。

芦田会員 昭和28年9月10日結婚して早や26回目の記念日を迎えることになりました。今後も元気で仕事もロータリーも続けていき度いと思っております。よろしく

蜂屋会員 芦田先生、亀谷先生、日本トラックKKの社員が大変御世話様に成り有難とう御座居ました厚く御礼申し上げます。

猪熊会員 お蔭様で50何回目の誕生日です。健康に感謝して。